

# 宮崎市：Go Next 100 ～持続可能な「まちなか脱炭素型モデル」の確立～

脱炭素先行地域の対象：宮崎駅周辺エリア、産学官連携エリア、生目の杜運動公園エリア、清武総合運動公園エリア

主なエネルギー需要家：集合住宅(82棟534戸)、民間施設(158施設)、公共施設(5施設)

共同提案者：宮崎県、国立大学法人宮崎大学、宮崎商工会議所、(公)宮崎市観光協会、九州電力(株)、(株)宮崎銀行、宮崎交通(株)、米良電機産業(株)、(株)宮崎放送、西日本電信電話(株)、ソーラーフロンティア(株)、アジア航測(株)

## 取組の全体像

中心市街地である宮崎駅周辺エリアの活性化を目指して、産学官連携の体制を整備し「まちなか投資倍増プロジェクト」(省エネ性能基準(ZEB Ready相当)等を満たすことで容積率緩和や固定資産税の軽減等を行う市の独自制度)と連動して新築ZEB 3棟を建設。それらをモデルとして新築・既存建築物のZEB化を推進するとともに、3D都市モデルを整備し建物壁面等の発電ポテンシャルを調査することで太陽光発電設備を最大限導入する等まちをリニューアルし、業務系施設誘致・投資の呼び込みを図る。また、宮崎大学等と連携して幅広い世代に対応したGXに関する教育プログラムの実施と就職支援を行い、脱炭素に資する人材を育成し企業に輩出する。さらにプロスポーツ団体と協働した取組を通じて、通年の行動変容を促すとともに駅周辺エリアに人を呼び込み、中心市街地の活性化を図る。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 産学の関係者により新たに組成したWGと市が連携体制を構築し、「まちなか投資倍増プロジェクト」と連動して新築3棟(マンション、オフィスビル、ホテル)をZEB化
- ② 延床面積と築年数でグループ化しそれぞれに適した手法を提案し、既存建築物16棟をZEB化
- ③ プロ野球キャンプ等のスポーツイベントが開催される大型運動公園(生目の杜運動公園、清武総合運動公園)にソーラーカーポート(約3,200kW)を導入し、余剰電力をエリア内へ供給するとともに、民間施設に太陽光発電設備(約1,300kW)・蓄電池を導入し、自家消費を行う
- ④ 3D都市モデル「PLATEAU」を活用してデータを整備し、建物壁面等の太陽光発電ポテンシャルを調査することで、太陽光発電設備を最大限導入



宮崎駅周辺エリアイメージ



ソーラーカーポート



プロスポーツ団体とのイベント

### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 宮崎大学GX研究センター等と連携し、通年の講座やイベント等を複合的に幼児から大人までを対象に行うGXに関する教育プログラムを実施するとともに、駅周辺エリアで学生と事業者のマッチングイベントを開催
- ② 複数のプロスポーツ団体(野球、ゴルフ等)と協働し、会場の脱炭素化やプラ不使用等の取組を行うほか、アプリを活用した行動変容に取り組むことで駅周辺エリアでのグッズ交換等が可能なポイントが付与される制度を実施

### 3. 取組により期待される主な効果

- ① モデルとなる3種のZEBを建設することで、新築・既存建築物のZEB化を推進し、中心市街地の人口密度の増加等につなげるとともに建て替えを進め、まちの価値向上を図り、更なる業務系施設誘致・投資を呼び込む
- ② 産学官連携で脱炭素人材の育成・輩出を行う仕組みを作るとともに、様々なイベントを駅周辺エリアでも実施することで今まで駅前エリアに向くことがなかった若い世代の人流を創出し、人材育成と中心市街地活性化を同時実現
- ③ プロスポーツ団体と協働した行動変容により、市内外から駅周辺エリアへの人流を生み出し、中心市街地の活性化に貢献

### 4. 主な取組のスケジュール

